

## 令和4年度入間市児童発達支援センター事業計画

### ※児童福祉法

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
入間市児童発達支援センター条例

### ■事業概要

心身の発達に遅れや障がいのある子どもに対する支援を総合的に実施する中核的な支援拠点として、相談支援、児童発達支援、地域支援の3つの事業を行う。

子どもとその家族が身近な地域で安心して暮らし、一人の自立した人間へと成長できるよう、18歳まで切れ目なく一貫して支援する。

### 1 児童発達支援事業

#### (1) 児童発達支援「元気キッズ」

対 象：心身の発達に遅れや障がいのある未就学児童

内 容：0～2歳児（親子通所 みどりクラス）

週1～2回通所（1日当たり定員 5人）

利用時間：午前9時～午後2時

3～5歳児（単独通所 きいろ・あおクラス）

週1～5回通所（1日当たり定員 16人）

利用時間：午前9時～午後3時

重症心身障がい児等（親子通所 ピンククラス）

週1～2回通所（1日当たり定員 5人）

利用時間：午前9時30分～午後2時

担当職員：児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、看護師

利用者負担：所得等に応じた自己負担あり

4月11日に開始、5月身体測定、6月内科健診、7月身体測定、  
8月研修、9月身体測定、10月次年度利用意向聴取、11月内科健診、  
11月身体測定、1月身体測定、3月身体測定

#### ・行事

7月七夕週間、11月運動会週間、12月クリスマス週間、3月修了式・自閉症啓発デー  
準備

#### ・支援会議・モニタリング（随時）

9月モニタリング（前期評価）、2月モニタリング（後期評価）

#### ・入園相談（随時）

#### ・支援計画策定・更新

4月支援計画策定（更新）、9月支援計画策定（更新）

(2) 保育所等訪問支援

対 象：集団生活への適応に課題のある18歳未満の児童、施設職員、保護者  
内 容：市内保育所（園）・幼稚園、小学校、学童保育室、特別支援学校等への訪問支援  
担当職員：訪問支援員  
利用時間：月1～2回 平日（1回2～3時間）  
利用者負担：所得等に応じた自己負担あり

(3) 日中一時支援（随時）

対 象：心身の発達に遅れや障がいのある18歳未満の児童  
内 容：就学後の継続支援や保護者のレスパイト対応  
担当職員：保育士、児童指導員、看護師  
利用時間：平日午後3時～午後6時  
利用者負担：所得等に応じた自己負担あり

2 相談支援事業

(1) 基本相談（随時）

対 象：発達に不安や課題のある18歳未満の児童・家族・地域の支援機関  
内 容：子育てや子どもの発達に関する相談、傾聴や助言、関係機関の紹介  
担当職員：保健師・保育士・社会福祉士・指導主事

(2) 専門相談

対 象：発達に不安や課題のある18歳未満の児童・家族・地域の支援機関  
内 容：こだわりが強い、極端に不器用等、心理や作業療法に関する専門的な発達相談や、就学、学校生活に関する相談  
担当職員：医師・心理師等・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士

(3) 障がい児相談支援（計画相談支援）

対 象：児童発達支援等の障がい福祉サービス利用者  
内 容：児童発達支援等のサービスを利用するための支援計画の作成や手続き支援  
担当職員：相談支援専門員  
利用時間：いずれも平日午前9時～午後5時15分（祝休日・年末年始を除く）  
月1回程度の時間外相談受付  
3か月に1回程度の休日相談受付  
利用者負担：なし（専門相談は内容によっては実費負担あり）

## ○その他相談支援事業

## ① オンライン相談支援

外出、対面による感染リスクを避け、在宅での相談支援を充実するもの。

重症心身障がい児、医療的ケア児等の外出が難しい児童や中高生等、窓口での相談につながりにくい方や、来所する時間がない方に相談の機会を広げる入口としての活用も見込みます。

## ア オンライン相談支援

Z o o mのビデオ通話サービスを活用し相談支援を行う事業

## イ オンライン講演会

発達支援に関する講義などについてZ o o mを用いてリアルタイムでの講義のほか、ビデオ録画し、インターネット上での視聴に供する事業

## ウ 発達支援事業者等への機材貸出

利用者とのオンライン面談を支援するため、タブレットなどの機材を貸し出す事業

## ② 休日相談会

奇数月1回休日相談会を開催します。（1月、2月は教育センターと同時開催予定）

市職員（保健師、保育士、指導主事、社会福祉士）、専門相談員（心理師、作業療法士）が相談対応します。

回	月 日	受付時間	会 場
1	5/15（日）	9時～16時	健康福祉センター
2	7/10（日）	9時～16時	
3	9/11（日）	9時～16時	児童センター
4	11/13（日）	9時～16時	
5	1/22（日）	9時～16時	
6	2/19（日）	9時～16時	

## ③ 就学を考える会

概要	就学先進路の検討材料を提供するため、通級、支援級、支援学校に関する説明会と先輩保護者の経験談を聴く機会を設けるものです。
対象	おもに年中児（4歳児）の保護者
日程等	未定

## ④ 就学支援

概要	障がいのある又はその疑いのある児童の就学に関する支援を行います。 児童発達支援センターの指導主事（学校教育課併任）が一部を担当しており、保育士は就学支援委員会の委員となっています。
対象	障害又はその疑いのある学齢児童生徒及び就学予定者
件数等	主に児童発達支援センター事業を利用する児童を担当



### 3 地域支援事業

#### (1) 地域支援

##### ① 関係機関連絡会

概要	顔の見える関係を作り、地域の支援向上の基礎とするため、関係機関連絡会を開催し、情報交換、事例検討会、講演会などを行うもの。	
対象	児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所、保育所園、幼稚園、学校、学童保育室、子育て支援拠点等	
日程等	年2回	相談事例検討、各事業所の自己紹介。 児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援・相談支援事業所等13団体参加予定

##### ② 施設支援

概要	保護者へのアプローチ、障害福祉サービスに関する情報提供、施設職員への助言、巡回支援対象外児童の支援などを行うもの。	
対象	市内保育所・園、幼稚園	
日程等	随時	

##### ③ C L M研修

概要	三重県の取り組みである「C L M (Check List in 三重)」を紹介し、保育所等の現場職員による発達支援を実践する研修。児童の「気になる行動」をリスト化、対象となる行動を選定、要因と対応策の検討、実施、モニタリングのサイクルでクラス運営を支援するもの。	
対象	保育、幼稚園、学校、学童保育、子育て支援拠点、児童発達支援、放課後等デイサービス等、児童の直接支援に携わる施設職員を対象予定。	

概要	公立保育所へのC L M導入に伴う実地研修 また、開催施設以外の施設、関係課職員による夜間研修会の実施	
対象	豊岡保育所、二本木保育所	
日程等	6月から2月までの4か月間の予定	

##### ④ 中高生向け支援

概要	中高校生等の相談の受け皿としてS S Tを取り入れた事業等を行うもの。	
対象	入間市内全中学校の1年生を対象	
日程等	5月～3月（夏休み・冬休み・春休みを除く）	

⑤ 休日施設開放

概要	心身の発達に遅れ又は障害のある児童親子が気兼ねなく遊べる場所がほしいとの市民ニーズに応えるため、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出がままならず、親子のストレスが高まっている場合に安心して遊べる場所を提供するため、週末に児童発達支援センターの施設を開放するもの。		
対象	心身の発達に遅れ又は障害のある児童とその保護者（各回５組程度）		
日程等	回	日時	
	1	5/15（日）	午前の部 9：30～11：30
			午後の部 13：00～15：00
	2	7/10（日）	午前の部 9：30～11：30（保護者交流会）
			午後の部 13：00～15：00
	3	9/11（日）	午前の部 9：30～11：30
			午後の部 13：00～15：00
	4	11/13（日）	午前の部 9：30～11：30（保護者交流会）
			午後の部 13：00～15：00
	5	1/22（日）	午前の部 9：30～11：30
			午後の部 13：00～15：00
	6	2/19（日）	午前の部 9：30～11：30（保護者交流会）
			午後の部 13：00～15：00
協力	見守り、保護者の相談相手などの運営協力を市民団体をお願いしています。 入間市手をつなぐ親の会 子育て家庭支援センターあいくる		

（2）家族支援

① 保護者交流会（教育委員会共催）

概要	障がいを持つ子どもを育てる保護者の孤立を防止するため、保護者同士が集まり、悩みを共有し、情報交換する機会を設けるもの。 休日施設開放に併せて行います。	
	7/10（日）	午前9：30～11：30
	11/13（日）	午前9：30～11：30
	2/19（日）	午前9：30～11：30
運営	ういずスタッフのほか、入間市手をつなぐ親の会、子育て家庭支援センターあいくる	

② 親支援講座（教育委員会共催）

概要	通級・支援級の児童生徒の保護者を支援するため、発達の特性や進路に関する講演を行うもの。
----	---

日程等	年4回開催予定
-----	---------

### ③ きょうだい児支援

概要	支援を要する児童のきょうだい児（兄弟姉妹）は、保護者にかまってもらえない寂しさや、それを我慢する辛さ、周囲から期待される負担感、わかってもらえない孤独感などを抱えて悩む場合があると言われています。 きょうだい児支援の取組みはまだ十分ではないことから、オンラインによる動画を配信しきょうだい児支援についての周知を図り、きょうだい児が感じる負担や不安を軽減することを目的に実施するものです。
内容	オンラインによる配信

## 4 普及啓発

### ① 世界自閉症啓発デーに伴うブルーライトアップ

概要	4/2は国連が定める「世界自閉症啓発デー」であり、世界中でランドマークのブルーライトアップが行われる。児童発達支援センターの普及啓発事業として西洋館のライトアップを行います。
日程等	4/2（土）～4/8（金） ※ 4/2～4/8の「発達障害啓発週間」を開催期間の予定です。

#### ※令和4年度からの主な変更点

・時間外相談について特定した日に設定せず、事前予約あるいは当日の相談状況により対応する。

・保護者交流会の参加者を募るために、休日の施設開放日に合わせ設定する。開催を7月、11月、2月の午前中に設定し、会場を元気キッズのクラスを使用予定。その間お子さんはプレイルームにて遊んでもらい、何かあれば保護者を呼んで対応するなどお子さんを連れて参加させることで、日頃の悩みや交流の場を設けるほか、先輩保護者との交流の場にも繋がる。

・ブルーライトアップを西洋館で実施。以前からライトアップは健康福祉センターにて実施し、夕方に準備し終了すると片付けるなど天気や左右されるほか、時間外での対応のため職員の負担感が大きかったことから、西洋館を管理している入間市博物館に協力願いを提出し、現地確認の上、西洋館のPR及びブルーライトアップによる普及啓発の向上を図るために行う。